

運動会・・・前期終了　そして　後期スタート

校長　森　恵子

雲ひとつない青空のもと、川和東小学校の運動会が行われました。

1056名の川和東小児童のパワフルな入場行進。どの子の顔にも「よし　がんばるぞ!」という力がみなぎっていました。

振り返ること10日前、9月15日に1回目の全体練習が行われました。その週は雨が前日まで降り続き、どの学年も外での練習がほとんどできない状態でした。そのような中で行われた全体練習です。入場練習、開・閉会式練習、応援練習、全校競技(大玉送り)の練習が行われました。しかし、何かピリッとしません。ひとりひとはやりたい気持ちはあるようだが、うまく歯車が合わないのか、息が合わないのを感じました。そのことはきっと子どもたちも同じように感じただろう。さえない顔である。正直言って本番までに気持ちがひとつになれるだろうか?間にあうだろうか?と少々不安を感じました。16日17日18日と三日間のお休みの後、19日は2回目の全体練習。2回目の練習ではあるがこれが最後の全体練習でした。1回目の練習の子どもたちのさえない顔を思い出していました。しかし、19日の全体練習は違っていました。一年生から六年生までの子どもたち皆が集中してやっているのです。皆が一つの目標に向かって動き出したのです。

ひとつの目標・・・それは、「運動会を成功させたい」・・・この思いです。その週、どの学年の練習にも一段と熱が入ってきました。空いている運動場を奪い合うように練習をしています。厳しい練習にもあります。先生方の指導の声にも力が入ります。でも、子どもたちは一生懸命食いついているのでした。何度も何度もできていないところ、満足いかないところを繰り返し繰り返し練習が行われていました。がんばっていました。全学年、子どもたちも先生方も必死でした。1回目に感じた不安消えました。不安どころか待ち遠しい気持ちに変わってきました。

24日運動会当日がやって来ました。雲ひとつない青空は、子どもたちや先生方の気持ちの表れのように思えました。心が踊ります。その表れを先ず感じたのは開会式の入場準備でした。1000人を超える児童が一緒に行動を起こす時は、とにかく時間がかかるのですが、なんと予定の時間の10分前には整列が完了しているのです。

前日の準備の段階から、運動会当日、そして、片付けまで子どもたちは全力を出し切りました。日差しの暑い一日でしたが、最後まで素晴らしい運動会でした。

運動会が終わり26日、どの学年も運動会の振り返りをしていました。その振り返りの中でとても心温かくなる嬉しい作文を読ませてもらいました。それは4年生の作文です。一部紹介します。

*「よく頑張ったね。お疲れさま　ソーラン節すごいね」とほめてくれました。わたしは、**運動会が終わってもソーラン節の練習をしたいです。**

*休み時間や空いている時間にせいいっぱい練習して、**がんばった所をお母さんたちに見せたい。**

*踊る前に悔いのないよう精一杯やろうと思ひ踊って、ちょっと間違えたところもあるけど**今までのどの練習の中でも、もっともうまくできて自分でも悔いがないように出来たのでうれしかったです。**

*この運動会で一番わかったことがあります。よろこびというものは待っていても来ないのだから、**自分で精一杯練習して一生懸命やればえられるとわかりました。**

これらの作文を目にして、4年生の子どもだけでなくどの学年の子どもたちのひとりひとりの心が一歩も二歩も成長したことを感じとることができました。演技や競技の素晴らしさも勿論ありました。しかし、それ以上に子どもたちのがんばり、先生方のがんばり、保護者の方々のご協力によって、目標に向かって最後までやり遂げることができたすがすがしさを胸いっぱいにかんじることができた運動会ができました。

前期の集大成の行事である運動会が成就感を持って終えることができました。あと10日で前期が終わります。子どもたちと共に振り返りをしっかりし、後期のスタートに備えたいと思います。

4月からの6ヶ月間、いろいろな場面で本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき本当にありがとうございました。今後とも宜しく願いいたします。